

様式第1号（第7条関係）

協 議 会 記 入 欄
申 請 番 号 : 第      号
許 可 番 号 : 第      号
平成      年      月      日

和水町地域雇用創造協議会 殿

申請者	住所又は所在地	
	事業者名	
	代表者名	
	担当者氏名	
	電話番号	
	主な業務内容	

開発商品権利等使用許可（変更）申請書

和水町地域雇用創造協議会 雇用創出実践メニュー商品開発事業実施要領第7条の規定により、開発商品の権利等を使用したいので、下記のとおり申請します。

記

1. 使用希望商品名：
2. 使用開始希望年月日：
3. 使用希望内容：下表のとおり

	項目名	具体的内容	許可（○印）
1			
2			
3			

（注）「商品名」、「項目名」及び「具体的内容」は、使用許可を得たときの内容を転記すること。

4. 添付書類：営業許可等の写し、誓約書

## 誓約書

和水町地域雇用創造協議会会長 殿

このたび和水町地域雇用創造協議会の開発商品「」の権利等を使用するにあたり、和水町地域雇用創造協議会雇用創出実践メニュー商品開発事業実施要領を遵守することを誓います。

また、当社（私）は、下記 1 及び 2 のいずれにも該当しません。

この誓約が虚偽又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

### 記

#### 1 使用者として不適当な者

- (1) 法人等（個人、法人又は団体という。）の役員等、個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは営業所（常時契約を締結する事務所をいう。）の代表者、団体である場合は、代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。）が、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 7 7 号）第 2 条第 2 号に規定する暴力団をいう。以下同じ）又は暴力団員（同法第 2 条第 6 号に規定する暴力団員をいう。以下同じ）であるとき。
- (2) 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は、第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしているとき。
- (3) 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき
- (4) 役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれを不当に利用するなどしているとき。
- (5) 役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に避難されるべき関係を有しているとき。

#### 2 使用者として不適当な行為をする者

- (1) 暴力的な要求行為を行う者
- (2) 方的な責任を超えた不当な要求行為を行う者
- (3) 取引に関して脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為を行う者
- (4) 偽計又は威力を用いて契約担当官等の業務を妨害する行為を行う者
- (5) その他前各号に準ずる行為を行う者

平成 年 月 日

住 所

氏 名